

「目指せ！10安打完封」

東浜巨（福岡ソフトバンクホークス）

昨年の10月に行われたプロ野球ドラフト会議において、本市出身の二人の選手が指名されました。与那城小↓与勝中出身の東浜巨選手（22歳）高校時代沖縄尚学で春の甲子園大会で全国制覇を成し遂げ、進学した亜細亜大学においても数々のリーグ記録を塗り替えました。

ドラフト会議では、3球団から二位指名を受け、交渉権を得た福岡ソフトバンクホークスと同年11月30日契約に合意し背番号16のプロ野球選手となりました。



市長に活躍を誓う東浜選手



ひがしはま
な
お
東浜巨選手

激励会でインタビューを受ける東浜選手

「社会人屈指の速球派！」

屋宜照悟（北海道日本ハムファイターズ）

あげな中出身の屋宜照悟選手（23歳）。中部商業高校時代は、夏の甲子園大会沖縄予選では、惜しくも決勝戦で敗れ甲子園出場はなりませんでしたが、その後所属したJX-ENEOS野球部では、切れ味鋭い速球を武器に活躍し、北海道日本ハムファイターズから6巡目で見事指名を受けた。

昨年の12月30日には、市内でお二人の激励会が行われ、市民関係者を含めたくさんの方々が激励に訪れました。パンフィックリーグで二人の投げ合いも見られるかも！



入団報告に訪れた照悟選手（中央）と父親の充さん（右端）



や
ぎ
し
ょ
う
ご
屋宜照悟選手

激励会でインタビューを受ける屋宜選手